

(別添資料1)

事業所名

ライシャワー学園きこえサポートセンター

支援プログラム

作成日

2025 年

6 月

25 日

法人（事業所）理念		キリスト教精神に基づいた聴覚主導の人間教育を行い、共感的、対話的な人間性を育む取り組みを通して、児童、生徒個々の能力や個性を伸ばし、一人ひとりが自立して社会に仕える人となるよう支え導く。									
支援方針		1，キリスト教精神（一人ひとりを大切にした支援を行う。） 2，聴覚主導の人間教育（聴覚を通し日々の生きたことばのやり取りを積み重ねることにより、単にことばだけではなく、子どものより良い全体的な成長発達を促す。） 3，オーディオロジー部による専門的な聴覚的サポート（聴力測定、イヤーマールド型どり、HA/CIの調整、関係機関連携等）									
営業時間		8 時	45 分	から	16 時	20 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	お耳の状態を確認して、適切なケアをしていくことが出来るように助言指導していく。また、HA/CIの機器を本人が自分自身で適切に管理していくことが出来るようにサポートする。									
	運動・感覚	ライシャワ・ホール(体育館)や校庭で身体を使って様々な遊びを行う。また、自然と触れ合う経験、クッキングや制作活動など五感を通した様々な活動を行っている。そのような活動を通して全体発達を促すとともに、人と豊かなやりとりの経験を重ねていくようにしている。									
	認知・行動	様々な題材をもとにしたやりとりの中で、個々の興味、関心、特性、きこえの状況に寄り添いながら、それぞれが気づいたこと考えたことを表現していけるように支援していく。									
	言語 コミュニケーション	「聴いてわかる」ことを増やすためには、子どもとの日々の関わりが大切になる。1対1で向き合う経験を通して、ことばと出会いやり取りを重ねていく。子どもの中にことばを育てていく。また、人と関わるのが好きになっていく。									
	人間関係 社会性	受け止めてもらう経験を通して、人と関わるのが楽しみとなり、多くの人との関係作りを行うようになる。集団の中での生活を通して、集団のルールや行動を学ぶ経験になる。									
家族支援		年3回程度実施している保護者懇談会で保護者の交流の機会をもっている。保護者と学校との面談は年3回程度実施している。また、オーディオロジーとの話し合いを年2回程度実施して、専門的な助言サポートをしている。						移行支援		進学、就職などに関する相談や情報提供を行なう。また転院や必要な医療福祉が受けられるよう関係機関との連携を行う。	
地域支援・地域連携		必要に応じて個々の聴力測定と人工内耳・補聴器の調整を実施する。もし普段と異なる状態が見受けられた際等には病院と連携して、適切なフォローが受けられるように支援していく。						職員の質の向上		年3回の研修を全てのスタッフが受けて、聴覚主導の人間教育、インタラクション、聴覚障害や発達障害など様々な学びをしている。	
主な行事等		保護者も参加して年度の最初と最後の節目には始業式、終業式を行っています。また、クリスマス会等の行事では保護者や兄弟児も参加して歌を歌ったりゲームをしたり、プレゼントをもらったり、一緒に楽しんでいます。									